

グリーンガレッジ 2024 で学んだこと

チームB テント2

3月28日には、テントを建てたり、奮闘をしたり、カレーを作ったりしました。テント設営では、おだんのキャンプより、たくさん、一人でやってみました。でも、みんなで作れば、早くできるので、協力した方がとても良いという事がわかりました。

それでもとてもむずかしかったのは、テントの上に、カバーをおおいかぶせる事です。せが全くたりなくて、とてもくせんしました。でもやっぱり、みんなと協力して、なんとか完成できました。

あと、奮闘で、バスの中からの海が水色に光輝かいていて、明日が楽しみになりました。

お楽しみのカレーづくりは、はじめてのかちむきかむすしかしたけれど、くろしたカレーは、とてもおいしかったので、くろした後のよごごびはすごいとわかりました。



3月29日、久米島ホタル食宮や、ジュノーケリングが、BBQをしました。
ホタル食宮では、ほくは知らなかった久米島ホタルという生き物がいると、初めて分かりました。ほかにもたくさんの沖縄の自然をたんのうできました。

とくにうれしかったのは、とても大きなヤブが2ひきもとれたことです。このことから、ほくがさんでいるちきよりのとかな事がおかりました。

あと久米島ホタルは頭がオレンジ色で、と体が黒というおあった開だったのていおとろきました。

食宮内も、いろいろな沖縄の自然を感じることもか、できましたと思ひます。

沖縄の自然にかれることが、おかつたけれど、かれる事ができた、いい機会になりました。



シュノーケリングでは、沖縄の海を思うぞんがんまんきつできました。
やっぱり、福井の海と沖縄は、とてもちがいました。

テーブルサンゴや魚のあざやかな色があんなにマッチして、みたこともない、
そんな海のけしきを感じました。

はじめてのシュノーケリングで、きんちょうしたけれど、やってみれば、
かんたんでした。

だから、なにごとにも挑戦するのが大セブだと分かりました。
とてもきれいな海で、中がすきとおって見えるくらいきれいでした。

寒くないかなと思って、いたけれど、さすがに沖縄、とてもあったかです。

心には、おっとのこり糸売ける、大セブな思い出が、出来た
と思います。また、シュノーケリングを、いつかやってみたい
です。



三日間を通して、沖縄の自然にふれることができてきました。
久米島木タルなどの固有種、本州にはない、変わった植物
など、初めて知ったことがたくさんありました。
しかも、とてもあつく、夏みたいで、本州とまったく違って、お
いしかったです。

ぼくは、沖縄はどんな自然があるのか、全くしらなかった
ので、とてもびっくりになりました。

ぼくの好きなパイナップルが、たくさん売られていて、本州と
ちがうところが、いっぱいありました。

沖縄のきこうになれなかったけれど、おすれられない友だ
ち、おすれられないこけいがかあって、おかれの日半立き
で、たくさんあつて、きよなら、と言って別れるのが、いまでも
おすれることは、できません。

でも、きょうがたいけんがいっぱいあつて、すべて、とても楽
しい物ばかりでした。

今はもう、いつもの生活に戻っているけれど、あの日は、
おすれても、おすれられない最高の思い出です。

もちろん、友だちをおすれることもないです。

たったの三日が、最高の三日に、なつたと思います。